

非常時における児童の登降園について

社会福祉法人七宝福祉会 真こども園

気象庁による新しい防災気象情報の運用が令和 8 年 5 月 29 日に開始されます。そのため、真こども園では「津島市」の基準に準じて、非常時における児童の登降園について下記の対応とします。

1、気象庁が「津島市」に特別警報、警報（暴風・暴風雪・大雪・波浪）または

警戒レベル 3 相当以上情報（大雨・河川氾濫・高潮）を発表した場合

気象庁は市町村ごとに警報等を発表しています。テレビ等では、「愛知県」「愛知県西部」「尾張西部」の区分で発表する場合があります。
「津島市」もしくは「全域」の表示をご確認ください。

★確認方法は以下の通りです。

① 気象庁のホームページ「防災気象情報」	② テレビのデータ放送
③ NHK テレビの東海版	④ 津島市防災ほっとメール
⑤ 防災行政無線	⑥ つしま防災ポータル

種 類		自宅にいる場合の対応	園にいる場合の対応
気象台が発表する防災気象情報	警戒レベル4相当以上の防災気象情報 (暴風・暴風雪・大雨・河川氾濫・大雪・波浪 危険警報)	自宅待機又は安全が確保できる場所で待機（休園） 命を守る最善行動	園待機 ※1 警戒レベル 2 相当で 迎えの依頼準備をします ★警戒レベル3相当以上の場合は臨時休園とします。保護者への迎えを依頼しますが、安全が確認されるまで園待機とします。保護者自身の身の安全が確保できない場合には無理に迎え(引取り)に来ないでください。
	警戒レベル3相当以上の防災気象情報 (暴風・暴風雪・大雨・河川氾濫・大雪・波浪 警報)	自宅待機又は安全が確保できる場所で待機 ★「 警報レベル3相当解除 」の場合↓ ア、午前 6 時 30 分までに警報が解除された場合は、平常保育（給食・おやつあり） イ、午前 6 時 30 分から午前 10 時までに解除された場合は、解除後 1 時間後に自由登園で給食なし。弁当・水筒・おやつ持参。 ウ、午前 10 時以降解除されていない場合は 休園	※1 津島市に準じて、迎えが困難になる前のレベル 2 相当でお迎えをお願いしていきます。
	警戒レベル2相当の防災気象情報 (暴風・暴風雪・大雨・河川氾濫・大雪・波浪 注意報)	平常保育	平常保育 ※レベル 3 相当以上になる可能性がある場合は迎えの依頼準備をします。
	「ゲリラ豪雨」「雷注意報」などの災害が予想される場合	・登園が危険と保護者が判断する時は安全が確認されるまで登園を見合わせてください。	・園内で子どもの安全を確保し待機します。ただし、気象・道路等の状況から判断し迎えの依頼準備をします。

2、その他災害について

種 類	自宅にいる場合の対応	園にいる場合の対応
大地震（震度 5 弱以上）	自宅待機又は安全が確保できる場所で待機 安全が確認されるまで園児の 受け入れは行いません	園待機 保護者への迎えを依頼しますが、安全が確認されるまで園待機とします。保護者自身の身の安全が確保できない場合には無理に迎え(引取り)に来ないでください。
弾道ミサイル発射により、全国瞬時警報システム（Jアラート）が愛知県に発信	自宅待機又は安全が確保できる場所で待機 ・解除発信後に登園としますが ★「警報レベル 3 相当解除」に同じです。	平常保育 ・園内で子どもの安全を確保し待機します。ただし、状況を判断し迎えの依頼準備をします。

【登園、開園の判断基準】

迎えの要否や開園等は、「さくら days」でご連絡をしますのでその内容に従ってください。
ただし、居住する地域の災害状況、気象状況により、保護者の方が安全だと判断されない場合は自宅待機または、安全な場所で待機をしてください。

次の 3 点がすべて確認できた場合に登園（開園）を判断します。

- ①園舎・設備に重大な損傷がなく、安全に保育が行えること
- ②園周辺の道路や環境に、冠水・倒木等の重大な危険がないこと
- ③保育教諭が安全に出勤でき、必要な保育体制が確保できていること

＜給食について＞

災害時には電気、ガス、水道などのライフラインの停止や調理員体制の確保が困難になることがあります。そのため、やむを得ず給食を提供できない場合がありますが、これは園児の安全及び衛生面を最優先に考えた対応です。給食に関する対応については「さくら days」にてお知らせいたします。ご理解の程お願い致します。

【その他】

- ・登園後の緊急連絡は、「さくら days」を通じて配信を行いますが、停電などによりインターネット回線に不具合が生じた場合は使用ができなくなる可能性があります。保護者の皆様自身で情報収集に努めていただき、上記のような場合のお子様のお迎えについてはあらかじめご家庭で十分に話し合ってくださいますようお願い致します。
- ・園からの連絡に加え、ご家庭周辺の状況を踏まえて保護者の判断で安全を最優先に行動してください。迷った場合は、無理に動かず安全が確認できてから行動をすることが大切です。